


1 活動の目標と活動実施前の標準地の状況

<p>タイプ名：地域環境保全タイプ (竹林整備)</p>	<p>目標： タケノコが取れる美しい竹林作りを目指し、数値</p>
<p>調査方法：竹の本数調査</p>	<p>目標は3500本/haとする。</p>
<p>活動実施前の標準地の状況（令和2年度） 竹林内は、枯竹や倒れた竹が堆積、乱立しており、まず林内の整備が急務で、その後竹を伐採する。 調査区（矩形25㎡）内の竹の本数は18本で7200本/ha。 目標を達成するためには、3年間で3700本/haを、調査区内で9本（$3700/400=9.25$）伐採する。</p>	




活動前の現況写真

2 活動1年目の標準地の状況（令和2年度）

<p>標準地の状況 堆積、乱立していた枯竹や倒れた竹を集積整理し林床整備が進み、活動障害がなくなり活動効率や作業の安全性が向上した。調査区あたり1本伐採し、調査区内に17本の竹が残存する。伐採予定数の竹8本残。</p>	<p>目標達成度：30%</p>
<p>次年度に向けた改善策 林床整備を完了するとともに、調査区当たり4本伐採する。</p>	<p>写真</p>  <p>1年目の活動終了後の現況写真</p>

3 活動2年目の標準地の状況（令和3年度）

<p>標準地の状況 林床の整備を継続して林床整備を完了した。調査区当たり4本伐採し、標準値内の竹林の状況に沿って全体を整備した。伐採予定数の竹4本残。</p>	<p>目標達成度：60%</p>
<p>次年度に向けた改善策 調査区内の竹を4本伐採し、3年間の伐採数が累計9本になり、目標達成度100%を目指す。</p>	<p>写真</p>  <p>2年目の活動終了後の現況写真</p>

4 活動3年目の標準地の状況（令和〇年度）

<p>標準地の状況</p>	<p>写真</p>
<p>目標達成度</p>	

(注) 目標の設定及び標準地の状況の記載については、別に定めるガイドラインを参考とすること。